

6 保健体育

科目名	保健	単位数	1	学年	第2学年	科 コース	普通・総合ビジネス・ 総合生活
使用教科書				副教材			

学習の到達目標

1. 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善をしていく資質や能力を育てる。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	生涯を通じる健康 ・思春期と健康	・思春期の体と心の健康について理解させる。
	5	・性への関心・欲求と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康	・性意識の男女差と生理的欲求性行動について理解させる。 ・母体の健康の維持と母子保健サービスの活用を理解させる。
	6	・避妊法の選択と人工中絶 ・結婚生活と健康	・安全で確実な避妊法を選ぶ必要性を理解させ、人工妊娠中絶は、女性にとって心身ともに大きな負担となることを理解させる。 ・心身の健康が結婚生活の基盤となることを理解させ、夫婦間のよいコミュニケーションが結婚生活を支えることを理解させる。
	7	・加齢と健康 ・保健サービスとその活用	・年齢とともに体と心は変化することを理解させ、中高年期を健やかに過ごすためには何が必要かを考えさせる。 ・保健行政は、私たちの健康づくりを支援することを理解させ、私たちが、さまざまな保健行政サービスが利用できる事を理解させる。
二 学 期	9	・医療サービスとその活用 ・健康で安全な社会づくり	・私たちが必要の医療を受けられる仕組みを理解させ、医療サービスを上手に利用できるようにする。 ・保健・医療・福祉の連携が健康な暮らしを支えることを理解させ、全ての人が、健康で安全に暮らすために何が必要なのか理解させる。
	10	社会生活と健康 ・大気汚染と健康	・大気にかかわる環境問題について、何が問題になっているのか考えさせ、大気汚染が健康に影響をする過程を理解させる。
	11	・水質汚濁と健康 ・土壌汚染と健康	・水質汚濁のおもな原因は生活排水であることを理解させ私たちが何をすべきか理解させる。 ・土壌汚染はさまざまな経路で健康に影響を及ぼすことを理解させる。
	12	・環境汚染を防ぐ取り組み ・ゴミの処理と上下水道の整備	・大気汚染・水質汚濁・土壌汚染は、関係して健康問題を引き起こしている。環境汚染を防ぐため私たちに出来ることがあることを理解させる。 ・ゴミを衛生的に処理することを理解させ、衛生的な水を確保するために私たちが出来ることを理解させる。
三 学 期	1	・食品の安全を守る活動 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・職業病と健康	・行政や企業が食品の安全を守る活動を行っていることを理解させ私たちが食品の安全を守る役割を担っていることを学習させる。 ・働き方の変化により健康問題も変わってきたことを理解させる。 ・労働災害・職業病は、防ぐことが出来ることを理解させる。
	2	働く人の健康づくり ・健康的な職業生活 まとめ	・働く人の健康を保持増進させていくためには、なにが必要かを理解させる。 ・余暇の有効活用は、人生の質を高めること理解させる。
	3	・1年間の復習	・今年度学習したことを単元ごとにまとめ復習する。

学習評価

1. 定期試験・課題の提出状況・授業態度・参加意欲・参加態度などで総合的に評価する

